



自然災害との共生と豊穡の大地の物語

平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震で発生した多数の山地災害。何度も発生してきた河川の氾濫や冷害。

たくさんの自然災害と向き合い、知恵をあわせ、工夫を繰り返してきた先人たちのいとみなみが、この地域に豊かさや多様な文化をはぐくんできました。

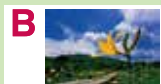
栗駒山麓ジオパークでは、この経験を未来へ伝えるため、栗駒山麓の地形・景観を教育、学術研究、観光、防災などに活用し、持続可能な地域づくりを目指しています。



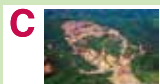
残雪の栗駒山と平野部の田植え風景



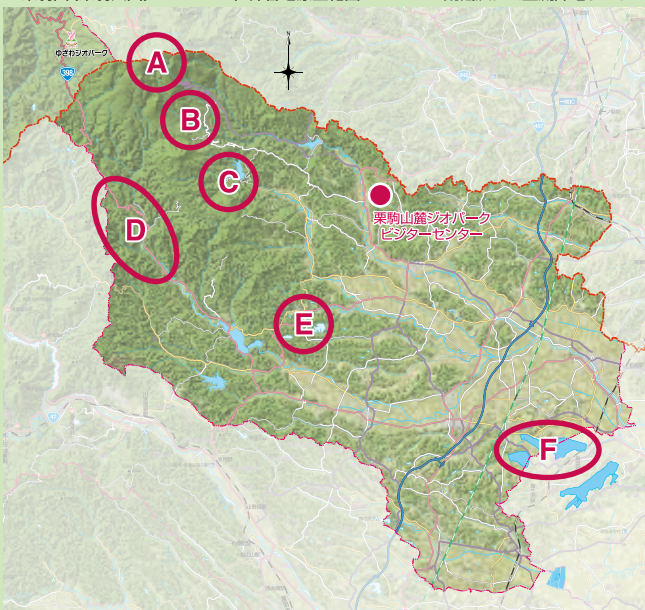
A 栗駒山(栗駒火山)



B 世界谷地原生花園



C 荒砥沢ダム上流部地すべり



D 小川原・坂下・浅布崩落地



E 細倉鉱山



F 伊豆沼・内沼

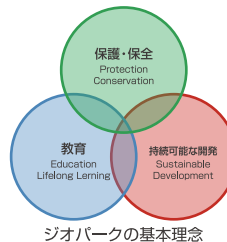
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平30情使、第72-GISMAP41561号)

ジオパークで地球を楽しもう!

ジオパークは、ジオ(地球)に親しみ、ジオを学ぶ旅、ジオツーリズムを楽しむ場所です。山や川をよく見て、そのなりたちとしくみに気づき、生態系や人間生活との関わりを考える場所です。

足元の地面の下にある岩石から宇宙まで、数十億年の過去から未来まで、山と川と海と大気とそこに住む生物について考える、つまり地球をまるごと考える場所、それがジオパークです。

また、国連による持続可能な開発目標(SDGs)の達成を目指す取り組みも行っています。



ジオパークの基本理念

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジンダリティ平等を	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に達成する世界が望むとした「持続可能な開発目標」です。

アクセス

若柳金成ICから車で約30分 / 築館ICから車で約40分
JRくりこま高原駅から車で約40分



開館時間 9:00~17:00(3~11月) / 9:00~16:00(12~2月)
休館日 火曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始(12月29日~1月3日)
入館料 無料

お問い合わせ先: 栗原市ジオパーク推進室(栗駒山麓ジオパーク推進協議会)



〒989-5372 宮城県栗原市栗駒松倉東貴船5番地
TEL 0228-24-8836 FAX 0228-45-5936
<https://www.kuriharacity.jp/geopark/>

栗駒山麓ジオパーク ビジターセンター



Mt. Kurikoma Area Geopark Visitor Center



エントランス



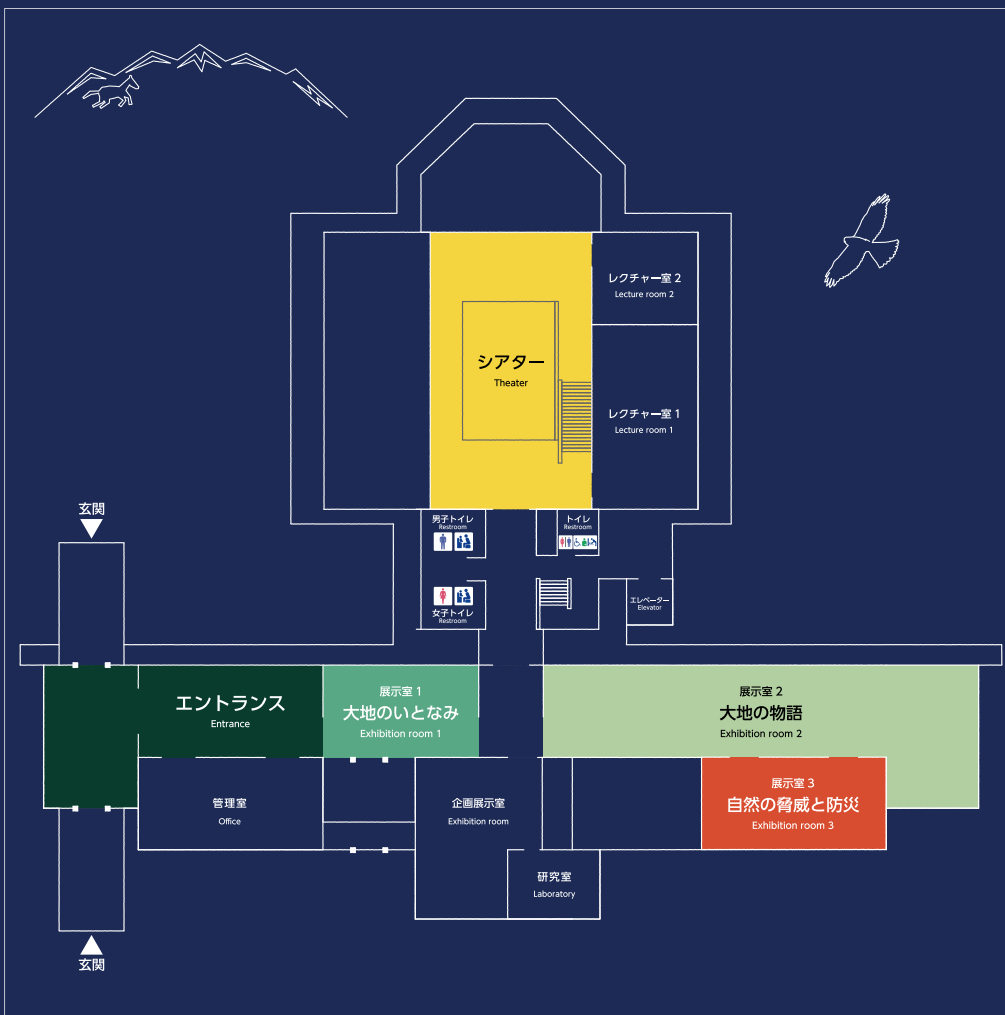
栗駒山麓ジオパークの概要や、季節ごとの見どころ紹介、イベント・ツアー情報のほか、ジオパークにまつわるさまざまな情報を知ることができます。



栗駒山麓ジオパーク ビジターセンター

栗駒山麓ジオパーク ビジターセンターは、2015年に日本ジオパークとして認定された栗駒山麓ジオパークの活動拠点施設です。

栗駒山麓ジオパークの地質・地形や生態系、人々のいとなみを紹介するとともに、「学びの場」「観光の場」として、多くの方にジオパークを楽しみ、活用してもらうための拠点となります。



ビジターセンターの楽しみ方・使い方

- ① 地域のなりたちを知る
- ② 自然災害と防災について知る・体験する
- ③ 学習や研修に活用する
- ④ ツアーやアクティビティの情報を知る

準備ができたなら本物を見に行こう!



大地の物語 展示室2



栗駒山麓ジオパークは標高1,626mの栗駒山から、標高約5mの伊豆沼・内沼周辺までの、東西わずか40kmという短い距離で、風景が大きく変わります。その特徴から、平野部、丘陵・段丘部、山腹・山麓部、栗駒山本体部のゾーンにわけ、なりたちと見どころを紹介します。



それぞれのゾーンを象徴するジオラマや展示からは、現地を訪れた際の見どころを知ることができます。床一面に広がる空中写真は、伊豆沼・内沼から栗駒山の山頂まで、鳥の目線でながめることができ、地形の特徴や、自然と人々のいとなみの広がりを実感できます。

自然の脅威と防災 展示室3



平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震をはじめ、この地域で発生してきたさまざまな自然災害。これらの記録と経験を、今後の防災・減災につなげていく展示を行なっています。



パネルと連動した体験展示では、自然災害と向き合っていくために必要な自然の見方を知ることができます。また、防災・減災について自分たちに何ができるのか考えることができます。

大地のいとなみ 展示室1



この地域の象徴ともいえる栗駒山から、水田の広がる平野部まで、栗駒山麓ジオパークをめぐる大地の歴史を、1億年前から現在までのスケールで紹介しします。



シアター



400インチ2画面の超大型スクリーンに展開される迫力の映像で、栗駒山麓ジオパークのきっかけとなった震災の記憶と、その大地のなりたちの物語を体験できます。

